Call 公募	HORIZON-CL3-2026-01-INFRA-01
Project	**Tools and processes to support stress tests of critical infrastructure** HORIZON-CL3-2026-01-INFRA-01
Topic description トピックの説明	期待される成果： 本プロジェクトの成果は、以下の成果の一部またはすべてに寄与することが期待される： ● 重要インフラの運営事業者および当局は、それぞれの資産や運用に対する仮想的および物理的なストレステストの実施や改善を可能にする、効率的で適応性が高く、回復力があり、信頼性の高いツールやプロセスを活用できる。 ● 重要組織は、自組織の技術的および運用上の脆弱性や適応能力について、より広範かつ深い理解を得ており、これによりシナリオ策定やストレステストの実施が改善されている； ● 関係するステークホルダー向けに、ストレス状況下での通知や連携を可能にするシステムが利用可能である； ● 重要な組織は、データ収集、分析、および安全な環境下での知見の習得・管理・共有の向上など、インシデント発生後の調査に対応する体制がより整っている。 ● インシデント管理や研修カリキュラムを含む、運用手順の改善が行われている。 スコープ： 重要インフラの回復力は極めて重要である。なぜなら、これらのシステムに支障が生じると、経済全体、公衆衛生、治安、あるいは安全に重大な影響を及ぼす可能性があるからである。現代社会に不可欠なサービスを提供するこれらのシステムは、ますます複雑化し、相互に密接に結びついているため、サイバー攻撃、物理的攻撃、機能不全、人為的要因や自然災害など、さまざまな脅威に対して脆弱になっている。 このトピックの目的は、専用のツールや手法を提供し、検証を支援することで、重要インフラのストレステストを円滑に進めることである。これにより、技術的および運用上の脆弱性の特定と検証が可能となり、これらのリスクを軽減するための効果的な解決策が提示されるとともに、各重要機関が策定すべきレジリエンス計画を強化するためのデータの収集と分析が促進される。これまでの演習から得られた知見を踏まえ、最終的な目標は、より堅牢かつ包括的なストレステスト手順を確立し、それによって重要インフラの信頼性と完全性を確保することである。 提案されるソリューションは、とりわけ、シミュレーションやモデリング、複数の災害や脅威を想定したシナリオ構築、地理空間情報を含むデータ分析、デジタルツイン、リスクおよび適応能力の評価、ならびに人的要因の影響の評価などを支援する可能性がある。 これらの解決策は、多様な利用者や関係者のニーズを考慮し、包括的かつ利用しやすいものとなるよう設計されるべきである。また、脅威や危険の性質が変化し続けることを踏まえ、柔軟な設定が可能であるべきである。可能であれば、これらはさまざまな分野に応用可能であるべきであり、過酷な環境や遠隔地での運用を含め、多様な環境的・地理的条件下でのストレステストに対応できるものであるべきである。さらに、これらは関連する法的枠組みに準拠するとともに、処理される情報の機密性や機微性を考慮しつつ、現行の制度の下で開発されたツールを適用できるようにすべきである。 本トピックで採択された提案と、HORIZON-CL3-2025-01-INFRA-01「重要インフラの大規模な機能停止に対する備え、対応、復旧の向上に関するオープン・トピック」および HORIZON-CL3-2025-01-INFRA-02「 「欧州の重要インフラのレジリエンスにおける人的要因の役割」というオープンテーマの下で資金提供を受けたプロジェクトとの連携を、重複を回避し、リソースを共有し、相互補完性や影響力を高める機会を最大限に活用するために、検討すべきである。 このトピックにおいて、研究およびイノベーションの内容へのジェンダーの視点（性別およびジェンダー分析）の組み込みについては、その研究活動の目的と関連がある場合に限り、検討

	すべきである。 該当する場合、助成対象プロジェクトは、欧州委員会共同研究センターと連携し、欧州構造評価研究所（ELSA）の「Reaction Wall」および「HopLab」において、補完的な実規模試験を実施することが推奨される。 技術成熟度レベル - 完了したプロジェクトにおいて期待される技術成熟度レベル 本プロジェクトの終了までに、各活動において TRL 6～7 の達成が見込まれている（一般付属書 B を参照）。